

## 第3回名古屋クラシックツアー

▶2013.9.22▶愛知・三重

02

## 初心者でも楽しめるヒストリックカー・ラリー

Text &amp; photo: Spanish Uchiwa汽船社-1

ヒストリックカーのイベントは各地で多く開催されるようになったが、そのルートにカーフェリーを組み合わせるイベントは、これまでも数えるほどしかなかったのではないだろうか。これが名古屋クラシックツアーの大きな特色のひとつだ。

このイベントは昨年より開催しているもので、より多くの人たちに、ヒストリックカー・イベントへ気軽に参加してもらうために、ヒストリックカー・ミーティングのエントリー・イベントとして設置づけられる。そのため2000年までに生産されたスポーツカーであれば参加可能で、今回は、1960年代のクルマを中心に、60台近いエントリーがあった。

内容はコマ地圖を使ってルートをとったり、チェックポイントやPC競技(決められた短い区間を、指定されたタイムに近づけて走る競技)を行いながらゴールを目指すもの。しかし、前述のとおり気軽に参加してほしいとの趣旨から、初心者にも分かりやすいように、ルートブックは用語も含めて詳細に作られており、その結果、安心だからとひとりで参加するというエントリーも複数見られた。

参加者は朝、ノリタケの里(愛知県名古屋市長)に集合し、受け付け、車検を行った後、スタート地点の長寿町観音堂へ移動。河村たかし市長の長寿市長のスタートフラッグのもと、1台ずつスタートした。

スタート後名古屋高速、東名高速を経て、一路伊良湖カーフェリー乗り場までコンセントラシオン・ラン。そこからカーフェリーに乗船し知多半島の御崎港へ向かった。乗船中の参加者は、短いながらも昼食と休憩を楽しんだ様子である。

下船後はPC競技地点である、なほなの里(三重県桑名市)までPC競技やチェックポイントをクリアしながら、合計約200kmを走り抜いた。

なほなの里にゴールした参加者たちは、バーベキューを楽しむながら表彰式を持つことになる。その間も、マジシャンによるテーブルマジックを楽しむことで、時間を待たずすことなく、全ルートを通り切った参加者たちを待っていた。

このように、ただ単にルートに沿って走るだけではなく、河村市長のスタートフラッグからフェリーでの移動を組み込み、フィニッシュ後もバーベキューやテーブルマジックなど様々な企画を凝らすことで、参加者全員にイベントに出場することの楽しさを伝える工夫が凝らされている。

さらに注目したいのは表彰式で、特別賞や数回賞など多くの賞を設け、受賞者を増やすことで参加する喜び、充実する喜びを感じさせていたことである。

参加者は東海地方を中心に、関東方面からも多く出場しており、そのうちの1台は先日行われた「ザ・コンクール・デレガシオン・ジャパン2013」でベストオブ・ショーを受賞した1937年型のジャガーSS100だった。このクルマは、素晴らしいコンディションに保たれていてオリジナル度が高いことから、コンクールで優勝を飾ったわけだが、今回、全行程をノンストップで完走したことから、実行団においても素晴らしいコンディションであることを証明する結果となった。

次回は12月7日から8日にかけて開催される、ヒストリックカー・ミーティング伊勢志摩で、式年連立という特別な年にあたることから、伊勢神宮に参拝。その後、伊勢志摩スカイラインを目的地にしてスペシャル・スデージ旅行を楽しんだ後、夜はクリスマス・パーティーを開催する予定だという。●



伊勢志摩を右手に見ながら走る参加者たち。目的地まで乗り場から1時間ほど走った、先頭をシングルランナーのポルシェ2000。



河村たかし市長のスタートフラッグでスタートする、ジャガーEタイプ。河村市長より、古いものを大切にすることを呼びかけられた。



シングルランナー2700が長寿町観音堂でスタートする。表彰式から、このクルマは名古屋のスタートでドライブしていった。



このようなイベントでは珍しいアストンマーティンコンコルドも参加。スタートを兼ねて、昼食とスタートを待たされた。



特別表彰式のフェリーに乗った参加者たち。約1時間の乗船の間、クルマから降りて船内でランチを楽しむ。



優勝を飾った参加者たちは、特別賞とメダルから表彰。チェックポイント設置・PC競技も楽しんでいる。ゴール後のなほなの里へ。



タイムラー・ソフリン・クーペがPC競技は1周、16分53秒、45分56秒、60分10秒で、止まるまで4台は行けなかった。



ノリタケの里に集合した参加者たち。今回はジャガー・キャブとこれ551000・53K100、E5タイプ、F5タイプまで10台が参加した。



コンクール・デレガシオン・ジャパンでベストオブ・ショーに輝いたジャガーSS100は、最終的にイベントにも参加している。



コンクール・デレガシオン・ジャパンでベストオブ・ショーに輝いたジャガーSS100は、最終的にイベントにも参加している。



ノリタケの里に集合した参加者たち。今回はジャガー・キャブとこれ551000・53K100、E5タイプ、F5タイプまで10台が参加した。



コンクール・デレガシオン・ジャパンでベストオブ・ショーに輝いたジャガーSS100は、最終的にイベントにも参加している。



コンクール・デレガシオン・ジャパンでベストオブ・ショーに輝いたジャガーSS100は、最終的にイベントにも参加している。